



「天上の碧」

絵 神原 久子
詩 高安 ミツ子

「真珠の耳飾りの少女」

そのターバンの色

フェルメールブルーが

ヒマラヤを越え

季節風に乗ってやってきました

フェルメールブルーは

日本の四季をくぐり

花を青く 青く染めてゆきました

夏は木々に絡み

晩夏から晩秋を縫い合わせ

碧の命を広げていきます

私の物語が終章を迎えたように

冬の気配が近づいていても

ひたすら

日輪と月影の間を咲き続けていくのです

ふと私の肩に手を置くように

風景の優しきがある、この色彩の調べ

ああ しみじみと記憶の波打ら際で揺れる

フェルメールブルー「天上の碧」よ